

安全データシート

整理番号: A5501-0000_A001
作成: 1993/04/01
改訂: 2023/03/01

製品名: ジメチルグリコール (DMG)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: ジメチルグリコール (DMG)
供給者の会社名称: 日本乳化剤株式会社
住所: 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町4-1
担当部門: 生産本部 品質保証部
(TEL:044-266-8916,FAX:044-276-1724,E-MAIL:hinkan@nipponnyukazai.co.jp)
緊急連絡電話番号: 生産本部 川崎工場
(TEL:044-266-8914,FAX:044-276-1724)
推奨用途: 希釈剤, 反応溶剤
使用上の制限: 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

引火性液体	区分2
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3

GHSラベル要素

絵表示:



注意喚起語: 危険
危険有害性情報: H225 引火性の高い液体及び蒸気
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H335+H336 呼吸器への刺激のおそれ又は眠気又はめまいのおそれ

注意書き:

安全対策 P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P210 熱, 高温のもの, 火花, 裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器を接地しアースをとること。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

安全データシート

整理番号: A5501-0000_A001

作成: 1993/04/01

改訂: 2023/03/01

製品名: ジメチルグリコール (DMG)

応急措置 P312 気分が悪いときは医師／医師の監督下の医療従事者に連絡すること。

P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

P304+P340 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察／手当てを受けること。

P370+P378 火災の場合:消火するために適切な消火剤を使用すること。

保管(貯蔵) P405 施錠して保管すること。

P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄 P501 内容物／容器を産業廃棄物処理免許を持つ処理業者に委託して廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

単一物

成分及び濃度又は濃度範囲

成分名称	含有量 wt. %	CAS RN®	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
エチレングリコールジメチルエーテル	99-100	110-71-4	2-421, 7-1321	公表	項目15参照	項目15参照	非該当

4. 応急措置

吸入した場合:

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸が停止している場合には仰向きにして心肺蘇生を行う。

医師の診断／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合:

汚染された衣類を脱ぐこと。

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合:

少なくとも15分間大量の清浄な水で直ちに洗眼すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後直ちに医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合:

飲み込んだ後、意識がはっきりしている場合は大量の水を飲ませ、速やかに医師の手当てを受ける。

意識のない人に口からものを与えてはならない。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項:

救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

安全データシート

整理番号: A5501-0000_A001

作成: 1993/04/01

改訂: 2023/03/01

製品名: ジメチルグリコール (DMG)

5. 火災時の措置

適切な消火剤:	水噴霧、泡消火剤、ドライケミカル消火剤、炭酸ガス消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤:	棒状水
火災時の特有の危険有害性:	火災時には、有毒ガス(一酸化炭素等)が発生するおそれがある。
特有の消火方法:	火災の風上に立つこと。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 周辺火災の場合は容器を安全な場所に移す。移動が不可能な場合は、容器を散水冷却する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:	手袋、保護眼鏡、防火服、防災服、耐火服、空気呼吸器等適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置:	付近の着火源となるものは、速やかに取り除くこと。 8章で推奨する保護具を着用すること。汚染領域から退避させ、必要な場合以外および保護具を着用していない人員の立ち入りを防止すること。
環境に対する注意事項: 封じ込め及び 浄化の方法及び機材:	環境中(水域、土壌)へ放出してはならない。 不活性な物質(例:乾燥砂、土)に吸収させて、廃棄用容器に回収する。大量の場合、先ず土砂等でその流出を止めてから回収すること。 少量の場合は土砂、ウエス等で吸着させ取り除いた後、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	取り扱い時には、必ず適切な保護具(8章参照)を着用すること。 静電気を帯電する恐れがある。静電気除去の対策(接地等)を行なう。静電服、静電靴等を着用するなどして、人体帯電を防止すること。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
局所排気・全体換気:	8章記載の換気装置を使用すること。
安全取扱注意事項:	濃縮は過酸化物の生成を促進するため、蒸発乾固させてはならない。
保管	
安全な保管条件:	直射日光を避け、40℃を超えない程度の換気の良い場所で保管する。
安全な容器包装材料:	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

安全データシート

整理番号: A5501-0000_A001
作成: 1993/04/01
改訂: 2023/03/01

製品名: ジメチルグリコール (DMG)

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策等: 局所排気装置を使用すること。
取扱い場所の近くに、眼の洗浄および身体洗浄のための設備を設置すること。
設備の位置を明瞭に表示すること。

許容濃度等

成分名称	厚生労働省 (安衛法)	日本産業 衛生学会	ACGIH-TLV	
	管理濃度	許容濃度	TWA	STEL
エチレングリコールジメチルエーテル	未設定	未設定	未設定	未設定

保護具

呼吸用保護具: 状況に応じ有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器
手の保護具: 有機溶剤不浸透型保護手袋(静電気対策品が望ましい。)
眼、顔面の保護具: 保護眼鏡、ゴーグル、防災面
皮膚及び身体の保護具: 長袖の作業衣、保護靴(静電気対策品が望ましい。)
状況に応じ耐油性前掛け、長靴
特別な注意事項: 取扱い後は石けんと水で洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

製品

外観 形状: 液状(20℃)
色: 無色透明
臭い: 僅かなエーテル臭
融点/凝固点: 凝固点-69(℃)
沸点又は初留点
及び沸点範囲: 85.2(℃)
可燃性: データなし
爆発下限界及び爆発上限界
/可燃限界: データなし
引火点: -1.5(℃)
自然発火点: 440(℃)
分解温度: データなし
pH: データなし
動粘度率: データなし
溶解度: 水:可溶
n-オクタノール/水
分配係数(log値): データなし
蒸気圧: 6.4(kPa)(20℃)
密度及び/又は相対密度: 0.868(20℃)

安全データシート

整理番号: A5501-0000_A001
作成: 1993/04/01
改訂: 2023/03/01

製品名: ジメチルグリコール (DMG)

相対ガス密度: データなし
蒸発速度: 4.99
粒子特性: データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性: 常温常圧では安定。
危険有害反応可能性: 酸、酸化剤と反応して発熱する可能性がある。
避けるべき条件: 過熱、裸火、スパーク、着火源
混触危険物質: 酸、酸化剤
危険有害な分解生成物: 知見なし

11. 有害性情報

製品

急性毒性(経口):	区分に該当しない(区分外)
急性毒性(経皮):	分類できない
急性毒性(吸入):	区分に該当しない(分類対象外)(気体) 分類できない(蒸気) 分類できない(粉塵・ミスト)
皮膚腐食性/刺激性:	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	分類できない
呼吸器感作性:	分類できない
皮膚感作性:	分類できない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	分類できない
生殖毒性:	区分1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	区分3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	分類できない
誤えん有害性:	分類できない

成分

エチレングリコールジメチルエーテル

急性毒性(経口):	区分に該当しない(区分外) LD50: 2525 mg/kg[マウス]
急性毒性(経皮):	分類できない 動物への影響: データなし
急性毒性(吸入):	区分に該当しない(分類対象外)(気体) 分類できない(蒸気) 分類できない(粉塵・ミスト) 動物への影響: データなし

安全データシート

整理番号: A5501-0000_A001

作成: 1993/04/01

改訂: 2023/03/01

製品名: ジメチルグリコール (DMG)

皮膚腐食性／刺激性:	分類できない 動物への影響: データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:	分類できない 動物への影響: データなし
呼吸器感作性:	分類できない 人への影響: データなし
皮膚感作性:	分類できない 人への影響: データなし
生殖細胞変異原性:	分類できない 分類できない。In vivo試験のデータがなく、複数指標のin vitro変異原性試験の結果もないため分類できない。
発がん性:	分類できない その他試験データ データなし
生殖毒性:	区分1B その他 マウスの器官形成期に経口投与した試験において、母動物に対して毒性が認められない用量において、仔に対する手足の奇形や脳脱出などが認められている(ECETOC TR.17 (1985), TR.64 (1995), TR.95 vol.2 (2005), PATTY (5th, 2001))。また、EU分類・R60, R61で生殖毒性カテゴリー2(区分1B相当)である。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	区分3(麻酔作用) 逃避反応における影響ではなく、回避反応の有意な減少が区分2のガイダンス値の上限を超えるばく露用量で認められる(PATTY(5th, 2001))ことから区分3(麻酔作用)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	分類できない ラットに2週間吸入ばく露した試験において、3.75mg/L、7.5mg/L(1日4時間、週5日間)の動物の生存する用量において回復性の回避反応の低下が区分2のガイダンス範囲値でみられ(PATTY(5th, 2001))30mg/L(1日4時間、週5日間)(区分外に該当)で半数の動物が死亡していることより中枢神経系の影響が疑われるがデータ不足で分類できないとした。
誤えん有害性:	分類できない 人への影響: データなし

12. 環境影響情報

製品

生態毒性	
急性毒性:	分類できない
慢性毒性:	分類できない
残留性・分解性:	情報なし
生体蓄積性:	情報なし
土壌中の移動性:	情報なし
オゾン層への有害性:	分類できない
他の有害影響:	情報なし

安全データシート

整理番号: A5501-0000_A001
作成: 1993/04/01
改訂: 2023/03/01

製品名: ジメチルグリコール (DMG)

成分

エチレングリコールジメチルエーテル

生態毒性	
急性毒性:	分類できない
魚類:	データなし
甲殻類:	データなし
藻類:	データなし
慢性毒性:	分類できない
魚類:	データなし
甲殻類:	データなし
藻類:	データなし
残留性・分解性:	難分解性
生体蓄積性:	データなし
土壤中の移動性:	データなし
オゾン層への有害性:	分類できない

13. 廃棄上の注意

廃棄方法: 廃棄物、廃水を処理する場合は焼却処理するか、一定容器に取りまとめ、産業廃棄物処理業許可証を持つ処理業者に委託し、処理すること。

使用済みの容器は、他の物質を混入させたり他の用途に使用せず、内容物を上記に従って処理した後、廃棄処分する。容器をリサイクルする場合、容器は内部に何も入れず、栓をして取り扱い業者へ返却すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連分類:	3
	国連番号:	2252
	品名(国連輸送名):	1,2-DIMETHOXYETHANE
	容器等級:	II
国内規制がある場合の規制情報:	「15. 適用法令」を参考に、関連法令等の規則に従い輸送すること。	
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策:	容器は水濡れ、落下、転倒、破損しないように積載すること。 直射日光を防ぐために積載物に覆いをかけること。	
緊急時応急措置指針(ERG)番号:	127	

安全データシート

整理番号: A5501-0000_A001
作成: 1993/04/01
改訂: 2023/03/01

製品名: ジメチルグリコール (DMG)

15. 適用法令

消防法:	危険物第4類第1石油類 水溶性液体(400L)
毒劇法:	非該当
安衛法:	危険物・引火性の物、名称等を表示すべき危険物及び有害物(1, 2—ジメトキシエタン)(2024/4/1以降), 名称等を通知すべき危険物及び有害物(1, 2—ジメトキシエタン)(2024/4/1以降)
化審法:	非該当
PRTR法(化管法):	第1種指定化学物質(エチレングリコールジメチルエーテル 100%) (2023年4月1日以降)
船舶安全法:	引火性液体類
航空法:	引火性液体
港則法:	引火性液体

16. その他の情報

参考文献等:	NITE(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)、及びその他文献調査等で得られた情報
免責文:	記載内容について: 本SDSは作成時点で入手できた資料やデータ等に基づき、JIS Z 7253に準拠して作成しました。海外法規制登録確認等に対応した組成及び成分等の詳細情報は記載していない場合がありますので、必要な場合は別途弊社営業担当者へお問い合わせください。 注意事項は通常の取り扱いを対象としております。特殊な取り扱いをされる場合には、使用者の責任において用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。 記載内容について十分注意を払っておりますが、その内容を保証するものではありません。本製品は工業用用途のみご使用になれます。これ以外の用途でご使用になる場合には、予め弊社にご相談ください。